

8月7日。今話題のドキュメンタリー映画を上映 『ミツバチの羽音と地球の回転』

瀬戸内海の入り口に浮かぶ祝島というハート型をした小さな島での原発反対運動や脱原発を国民投票で決めて石油に頼らない生活を目指すスウェーデンの現状を描いて、未来エネルギーの在り方を問うドキュメンタリーです。祝島から数キロはなれた山口県上関町に上関原発の建設が計画されてから今年で30年。島の人たちは原発反対のデモを毎週行い、6月26日で1100回になりました。東電福島第1原発の事故は私たちの生活に最悪な影響をもたらし、3ヶ月以上たった今も放射能の危険が拭い去れないままです。原発に変わる持続可能なエネルギーへの展望を示すこの映画を多くの方に見ていただきたいと思います。8月7日(日)あきる野ルピアホールで午前10時からと午後2時からの2回上映します。前売券は800円で普及中です。お問合せは事務局へ。(裏面参照)。



渡辺治さんがこの国を語る 九条の会東京連絡会の大学学習会



写真は講演する渡辺先生

5月20日、大久保のけんせつプラザで行われた学習会では、歌手の横井久美子さんが、忌野清志郎が1988年に歌ったプレスリーの Love Me Tender をもじった「なに言ってんだー」と We shall overcome を We shall Article 9 と替え歌で歌い、会場をひとつにしました。一橋大学名誉教授の渡辺治さんは「運動が民主党を変え、変わった民主党を国民が支持したが、菅政権になって構造改革、日米同盟路線に復帰した。マスコミの大連立キャンペーンの大合唱の中で、新たな段階に入った。3・11後の課題は、構造改革でも日米同盟でもない、新しい福祉国家の対案を示す事が大切だ」と語り「①大震災での非正規切り・解雇の横行から雇用保障・社会保障の構築、②消費税を上げずに安定財源の確保、③大企業中心ではなく地域と中小企業が中心の経済成長政策・復興、④脱原発・原発にかわるエネルギー政策、⑤福祉国家型の地方自治体の実現、⑥日米安保のない日本の安全とアジアの平和、憲法9条を活かす日本。」と6つの柱を提起しました。250人が参加しました。(この講演の DVD があります。事務局へお問合せください)

ジェームス三木さん、西山さんが熱弁 昭島で5.21講演のつどい開催

ジェームス三木さんは「国民が賢くないと民主主義は成り立たない。国と政府は違う。戦争を始めるのは国民を含む“国”ではなく、政府である」とユーモアを籠めて語りました。「日米同盟とは何か」と題して元毎日新聞記者の西山太一さんは「安保条約の文言は変わっていないが、72年の沖縄返還のときはメモランダムを作って要求を呑まされた。アメリカは、グアムをハブにするためにパッケージで日本から金を引き出そうとしている。アメリカは中国なしではやっていけない。北朝鮮はアメリカに認めてもらいたくて手練手管を使っている。日本の外交は世界政治から離れている。メディアと国民がビビッドな行動をしなければならぬ・・・」と縦横に話しました。約900人が会場を埋め、あきる野からは40人ほどが参加しました。



写真は和光青年会の沖縄エイサー(昭島市民会館)

原発って必要なの？ 原発学習会盛況

5月14日には福島原発事故を考える会が京都橘大学教授、チェルノブイリ子ども基金理事、原爆の凶丸木美術館理事長の小寺隆幸さんを講師に「福島原発事故とチェルノブイリ」を学び、6月18日には新婦人あきる野支部が原発問題住民運動全国連絡センター事務局次長の野村在生さんを講師に「福島原発



事故が明らかにしたもの」を学びました。いずれも80人を越える盛況で、放射能の影響や収束の見通しなど質問もたくさん出て、関心の強さを示しました。写真は5/14の会場

事故と飯館村の現状」と「語り合おう、脱原発！」
7月16日(土)13:30～、会場:あきる野ルピア 3F 集会室、主催:さよなら原発-にしたま- 旧称福島原発事故を考える会(問合せ 谷口・辻 559-8851、佐橋 596-4569)

◎ 2011年原水爆禁止国民平和大行進へ

◆20日＝甲武トンネル13:30発→檜原村役場17:00着
◆21日＝檜原村役場9:00発→五日市出張所11:30着
→昼食後12:40発→日の出町役場14:40着◆22日＝日の出町役場9:15発→あきる野市役所10:40着→市役所発10:50→福生公園着12:30 **一歩でも歩きましょう**



中学生の教科書が危ない

中学生の教科書選定が始まる。今年はニュースにもならないが、前回問題となった扶桑社は仲間割れして育鵬社と自由社の教科書になった。その教科書を見に市の教科書展示(7/6まで)を見にいった。両教科書とも戦争の記述は日本軍の正当性を主張し、アジア諸国に与えた被害はさらっと流し、自国の被害は多く取り上げている。神話が多用され歴史と混同しそうだし、天皇のお仕事を2ページに渡って事細かく紹介している。五日市憲法をコラムに取り上げたが条文は第1条だけで的外れ。憲法の記述は改正の仕方を詳しく述べるなど、九条改正への誘導が見える。こんな教科書で学んだら世界に通用しない人間になるだろう。☞(教科書採択の市教育委員会 7/26 の傍聴を。問合せ華房Tel559-3932)

◆お知らせ◆

◎ **原発のない暮らしへ被災地の現状から考える。**
小澤祥司さん(環境ジャーナリスト)のお話し「原発

・事・務・局・よ・い・

- **定例サポーター会:**7月9日(土)午前 10 時 30 分から 12:00 まで市役所 1 階ロビーで行っています。今回は「ミツバチ・・・」上映会の進捗などです。定例は毎月第 2 土曜日同時刻・同会場です。みなさまのご出席をお待ちしています。
- **臨時サポーター会:**7月16日午後3時から市役所ロビーで。「ミツバチ・・・」上映会進捗
- あきる野9条の会賛同署名:累計 932 名。
- **Eメールアドレス再登録のおねがい**

当会からのニュースや情報伝達のためにあなたのEメールアドレスを再登録してください。

登録の仕方:インターネットで[あきる野9条の会](#) で当会のホームページを開き、トップページの左下の[お問合せ](#)をクリックすると会への送信トレイが立ち上がります。お名前とご住所を通信欄に書いて送信ボタンを押してください。これでOKです。

鎌仲ひとみ監督作品 「六ヶ所村ラプソディー」に続く長編映画

上映会のお知らせ

ドキュメンタリー
映画



エネルギーの未来を切り開く人々

この映画は日本のエネルギーの最前線、上関原発と向き合う祝島の人々とスウェーデンで持続可能な社会を構築する人々の取り組みを描いている。いかにして、自分たちのエネルギーの未来を切り開くのか? 現場からの問いかけは私たちに選択を迫ってくる。また同時に不可能とされていることを可能にする人間のエネルギーが、私たちと同じ普通の人々の感性と思いが、国の違いを超えて交差し新しいビジョンを描き出す。上映時間135分。

8月7日(日) 1回目 上映午前10時～(開場9時30分)
2回目 上映午後 2時～(開場1時30分)

あきる野ルピア 3Fホール JR 五日市線秋川駅北口徒歩4分

参加費 当日 1000 円/前売チケット800円、18歳未満500円

主催 **あきる野9条の会** (問合せ Tel042-558-7857 前田)

ホームページは[あきる野9条の会](#)

憲法九条守るアピール署名を推進しています/ あきる野9条の会